

水稻技術情報 NO-11

平成29年7月10日
営農支援課

生育旺盛、速やかに中干しを

1. 水稻の生育状況

現在、葉齢からみた生育は「あきたこまち」で平年比『5日程度の遅れ』となっているものの、草丈や茎数、葉色等の生育量はかなり回復傾向にあり、その他の品種も同様の傾向となっております。

現在、村内ほとんどの圃場で葉色が濃く生育旺盛な状態にあり、今後は草丈の徒長も懸念されることから、速やかに中干しを実施し有効茎数確保等に努めてください。

小麦圃場に隣接している圃場等は、小麦刈取り後にアワヨトウの侵入が懸念されますので、圃場内を確認し、発見された場合は営農支援課へご連絡ください。

水稻定点調査圃の生育状況(7月7日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	44.5	55.1	391	475	9.6	10.4	46.4	43.9
(慣行)	43.4		330		9.4		46.9	
(側条ペ-ス等)	45.4		443		9.7		46.0	
前年比	92%		96%		-0.4葉		108%	
平年比	81%		83%		-0.9葉		105%	
たつこもち	48.5	56.3	393	489	9.7	10.3	48.9	45.7
きぬのはだ	43.2	52.4	434	549	10.0	10.9	42.7	41.9
ときめきもち	46.3	51.7	518	498	9.4	10.5	47.4	42.8

2. 葉齢・幼穂長等からの出穂期予想

品 種 名	幼穂形成期	減数分裂盛期	出穂期予想	
	出穂前21日	出穂前10日	本年	平年
たつこもち	7月11日	7月22日	8月1日	7月30日
あきたこまち	7月17日	7月28日	8月7日	8月4日
きぬのはだ	7月20日	7月31日	8月10日	8月9日
ときめきもち	7月20日	7月31日	8月10日	8月9日

※上記の幼穂形成期と減数分裂期予想日は一般圃場(ヘドロ地)を指しておりますので、砂地圃場では3日程度早くなる見込みです。

《幼穂長と出穂前日数並びに低温に対する強弱》

幼穂長	出穂前日数	低温に対する強弱
2mm	21日(幼穂形成期)	やや弱い
7cm	13日(減数分裂始期)	最も弱い
15cm	10日(減数分裂盛期)	

※主稈を抜き、幼穂長を測定して出穂前日数の判断をしてください。

裏面あり

3. 今後の技術対応

1) 倒伏対策 (あきたこまち; 7月17日~24日頃が散布の目安)

過剰生育等により倒伏が心配される圃場は、倒伏防止対策を考慮する必要がありますので、次の薬剤で対応してください。

●倒伏軽減剤:ロミカ粒剤・1成分 [出穂前25~10日 散布量2~3kg/10a]

[3日間落水しないこと] 畦廻りスポット処理可能

2) 穂 肥

本年の生育は、前述のとおりとなっていますが、各自圃場の生育量・幼穂長等を確認のうえ、下表を参考に穂肥の可否を決めてください。

追肥の目安 (あきたこまち: 11葉期、 m^2 当り目標莖数 450~480 本位) [単位; kg/10a]

幼穂形成期(11葉期)頃の生育		幼穂形成期追肥	減数分裂期追肥
草丈 (cm)	葉色 (SPAD)		
60 以下	薄い(40 以下)	1.0	1.0~1.5
60 程度	色ムラがある	ムラ直し	1.0
60~65	普通(40~42)	追肥無し	2~3 日早めに 1.0
65 以上	濃い(42~45)	追肥無し	追肥無し~1.0
	濃い(45 以上)	追 肥 無 し	

※11葉期の目標生育量指数; 草丈 $\times m^2$ 莖数 = 28,000~30,000 程度

3) 病虫害防除

①葉いもち病

本年の天候や現在の葉色値等を勘案すると、今後葉いもち病の発生が懸念されます。オリゼート等での予防をしていない場合は、つぎの薬剤で防除に努めてください。

●コラトップ1 \times 粒剤12 1成分 [出穂5日前まで 散布量1kg/10a]

…[3日間湛水状態を保つ]

②稲こうじ病

7月中下旬の低温・多湿条件で多く発生しますので心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。特に前年発生した圃場については防除に努めてください。

●Zボルドー粉剤DL・1成分 [出穂10日前まで 散布量3kg/10a]

…あきたこまち:7月21~27日頃が散布の目安

●モンガリット1 \times 粒剤・1成分 [収穫45日前まで 散布量1kg/10a]

…「紋枯病・稲こうじ病同時防除」:[3日間湛水状態を保つ]

③紋 枯 病

過剰生育の圃場(特に畦畔廻等)については、高温下での発生が懸念されますので、心配される場合は、つぎの薬剤を散布し予防してください。

●モンガリット1 \times 粒剤・1成分 [収穫45日前まで 散布量1kg/10a]

…あきたこまち:7月16~26日頃が散布の目安、[3日間湛水状態を保つ] 畦廻りスポット処理可能

④斑点米カメムシ類 「発生やや早い」 予報

ヒエ、ホタルイが残草している圃場は、それら雑草の穂に産卵し圃場内に定着するため、早めに除草剤または手取りで対応をしてください。

※「ばか苗病」の散見される圃場は、見つけしだい抜取りをよろしく願います。